

2020年06月09日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【米国での抗議デモ】

米国での黒人の死亡事件をきっかけに始まった抗議デモが、全米の主要都市に拡大している。

トランプ大統領が、軍隊を派兵する旨を述べたことで、批判が拡大し、抗議デモがさらに大きくなった印象だ。

軍隊の投入は、その批判から、取り止めになったようだが、抗議デモは、拡大を続けている。

そして、抗議デモは、フランスやイギリスにも飛び火し、日本でも、大阪で抗議デモが行われた。

しかしながら、トランプ大統領は、抗議デモは非常に小規模である、と強調している。

大統領選挙を11月に控えているので、その対応に苦慮している様子が窺える。

このトランプ大統領の対応が、大統領選挙に大きく影響するのではないか、と考えている。

+++++

トランプ大統領は、「アメリカ・ファースト(米国第一)」の対応であり、対中国などの対応は、米国内では、それなりに評価されている、と考えます。

(その対応が、正しいか、正しくないか、という点は別問題として)

トランプ大統領の行動は、突飛なところも目立つのですが、トランプ大統領が就任して以降、米国経済が伸びたことで、例えば、失業率が低下し米国の雇用が拡大したこと、米国株価が大きく上昇したことなどで、米国内の批判を封じ込めていた感があります。

ところが、今回の黒人の死亡事件への対応は、人種差別問題につながり、今まで封じ込められていたトランプ大統領への批判が、いっきに表面化したのではないかと考えます。

+++++

そして、新型コロナウイルス問題で、米国の雇用は壊滅的な状況となっています。

金融政策などで、米株価はリバウンド(再上昇)していますが、この株価は、实体经济を反映しているのか、大いに疑問を持っています。

+++++

また、米国内での抗議デモの拡大が、新型コロナウイルスの再拡大に結びつくのではないかと危惧します。

トランプ大統領が、再選に失敗する可能性を、マーケット（金融市場、株式市場、外国為替市場、など）は、微妙に読み取っているのではないかと考えます。

+++++

（2020年06月09日東京時間14:35記述）